

家庭学習の手引き

「学ぶ力」は家庭での学習から



家族の宿題

- ① **子どもの目を見て話そう。**
(親の愛情が心に浸み込みます)
- ② **一緒に家事をしよう。**
(責任感と自立心を育てます)
- ③ **一緒に食事をしよう。**
(特に愛情いっぱいの朝食は、意欲的な子どもを育てます)
- ④ **一緒にあいさつをかわそう。**
(人と優しく関われる子を育てます)
- ⑤ **地域の子どもの成長とわが子の育ちを見つめよう。**
(地域の誰からも愛され、見守られる子を育てます)



「家庭を学びの環境に」

～当たり前のことを当たり前～

氏名()

家庭学習の手引き（1, 2年生 保護者用）

家庭学習の目標

基本的な学習習慣をきちんと身につけさせましょう

小学校 1, 2 年生
はこんな時期で
す。

- ・一人で学習の内容、方法を定めることはまだ無理です。
家族の手助けが欠かせません。
- ・学習の入門期で何でも興味を持ちます。
「よくできたね」「すごいな」ほめ言葉がすばらしい意欲を生みだします。
- ・「早寝・早起き」「愛情のこもった朝食」「朝の排便」など生活習慣の身につけている子は学習習慣が身につけやすいです。

学校では

- ・「読み、書き、計算」など基礎的、基本的な学習が始まります。
- ・繰り返し練習することで力のつく学習内容が多いです。
- ・45 分間の授業が基本です。我慢強く正しい姿勢で座り、
しっかり話の聞ける子に育つよう指導方針をもって取り組みます。
- ・「鉛筆を正しくもつ」「整理整頓をする」「好き嫌いせず食べる」も基本となる学習です。



家庭学習のさせ方

- ① 担任からの「宿題」を最初にさせてください。
(お子さんの様子を把握しながら、そばについて一緒に取り組んでください)
- ② 時間が余ったり本人の意欲で「家庭学習の手引き」児童用から選んでさせてください。
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでもかまいません。「机に向かう」習慣を身につけさせてください。
- ④ 勉強が終わったら次の日の準備をさせてください。
(筆箱の中には削った鉛筆が5~6本・下敷きも忘れずに)

家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

家に帰ったら早い目に宿題をすませる習慣を身につけさせましょう。
先に遊びに出た時は帰宅時間を約束させ短い時間でも
「必ず学習する」習慣に導きましょう。

② 学ぶための環境づくり

- 「机の上には学習用具だけをのせる」
- 「テレビや音楽は消す」
- 「ものを食べながら勉強しない」



お子さんが落ち着いた環境で学習効果を上げられるよう、
各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

かていがくしゅうのてびき

2年生

おうちでべんきょうをするときには

- ① テレビをけして、つくえの上には、べんきょうのどうぞだけ出して、はじめましょう。
- ② 30分から40分いじょう、がんばって學しゅうしましょう。
- ③ **はじめに学校のしゅくだいをさいごまでやりましょう。**
- ④ じかんがあまったり、もっとがんばれる人は、下の「じゅうべんきょうのすすめ」の中からえらんでやりましょう。
- ⑤ 學しゅうが終わったら、れんらくちょうを見て、**あしたの學こうのじゅんびをしましょう。**
(ふでばこの中のえんぴつはけずっていますか。下じきもわすれずに。)

じゅうべんきょうのすすめ

しゅくだいのほかに
こんなこともやって
みましょう。

こくごのべんきょう

- ① はっきりした声で、正しく、すらすらとよめるようにれんしゅうしましょう。
- ② ならったかん字を書きじゅんに気をつけて書くれんしゅうをしましょう。
よみがなもつけましょう。
- ③ ならったかん字やかなをつかってみじかい文やにつきを書きましょう。
思ったことやお話文(「 」)も入れて書きましょう。
「 」をつかったお話文もいれて書きましょう。
- ④ 「かん字はかせ」でじ分がちょうせんするきゅうをれんしゅうしましょう。
- ⑤ としよでかりた本をたくさんよみましょう。

さんすうのべんきょう

- ① **たしざんやひきざんのひっさんのれんしゅうをしましょう。**
(けいさんドリルを何かいもやってみましょう。)
- ② **九九のあんしょう**をできるようにれんしゅうしましょう。
- ③ おうちの人と**時計のよみかたやじかん**をだすれんしゅうをしましょう。
- ④ さんすうのもんだいを自分でつくって、やってみましょう。
(たしざん、ひきざん、かけざんになるもんだい)
- ⑤ テストやしゅくだいプリントでまちがえたしきやけいさんをノートに正しくかいてみましょう。

